

特集

3つの常任委員会が  
合同で行政視察を行いました

常任委員会は、定例会の開会中は各委員会で議案の審査を行っていますが、閉会中も委員会が所管する事務調査のため必要な活動として行政視察などを行っています。

今回の特集では、10月19日～20日に実施した委員会の合同行政視察の内容をご紹介します。

埼玉県さいたま市  
大久保浄水場

(10月19日)

総務水道常任委員会

埼玉県では県内の自治体に安全で良質な水の供給を行っており、吉川市の水道における臭水の比率は98.24%（令和4年）です。

さいたま市の大久保浄水場では、かび臭やトリハロメタンの原因物質を取り除く高度浄水処理施設の整備を進めています。

吉川市では水道料金の見直しも検討されていることから、市の水道事業に関係の深い臭水道事業の運営や整備状況を視察しました。

毎日の生活に欠かせない水の大切さを改めて感じました。



高度浄水処理施設整備工事場所の様子

東京都荒川区  
教育における防災部・防災クラブの取組

(10月19日)

文教福祉常任委員会

自然災害発生時に、小中学校の体育館は避難所になります。荒川区では避難所運営では学校のことをよく知っている児童生徒の存在が大きいとの声から、中学校では「防災部」、小学校では「防災クラブ」が創設され、



事業内容の説明を聞く議員

地域の防災活動の活性化につながっています。部活動などでの活動に至る経過や効果、現在の状況などを視察しました。

吉川市でも小学5年生や中学2年生を対象に、自らの安全を確保するための行動ができるよう減災教育の授業が実施されています。

災害発生時にも、慌てず落ち着いた行動が取れるよう日頃からの取り組みが重要です。

静岡県函南町  
狩野川塚本地区河川防災ステーション

(10月20日)

建設生活常任委員会

河川防災ステーションは洪水時に

は水防活動を支援し、災害が発生したときには緊急復旧などを迅速に行う基地となります。また、平時にはレクリエーションの場として河川を中心とした文化活動などの拠点としても利用されます。

今回視察した狩野川塚本地区河川防災ステーションには、函南町が整備した水防多目的センターのほか、国の環境整備事業で作られた芝生広場やドッグラン、子どもたちの川遊びやカヌー等の体験を想定した水辺空間がありました。

吉川市でも、江戸川河川防災ステーションの整備が進められており、その完成が待たれます。



河川敷の芝生とドッグラン